

御津・加茂川環境施設組合理立跡地水質検査業務委託

仕 様 書

令和 8年 4月

岡山市環境局環境施設部環境施設課

第 1 章 一 般 事 項

第 1 節 総 則

1. 1. 1 (適用範囲)

本仕様書は基本的内容について定めるものであり、本仕様書に明記されていない事項でも、当然必要と思われるものについては、本市監督員（以下「監督員」という。）と協議のうえ、受託者の責任において誠実に履行すること。

1. 1. 2 (法令等の遵守)

受託者は、本業務の履行にあたり、関係する法令、省令、規則、通達、条例等を遵守しなければならない。

1. 1. 3 (疑義等)

また、本仕様書及び図面等に明示のない場合又は疑いを生じた場合は、監督員と協議すること。

1. 1. 4 (損傷部補修)

本業務履行に際し、建造物機器等を損傷しないよう十分注意すること。万一損傷した場合は、監督員の指示に従い、同等以上の資材をもって速やかに現状復旧を図ること。

なお、復旧に要する費用はすべて受託者の負担とする。

1. 1. 5 (秘密の厳守)

業務上知り得た事項については、いかなる場合においても漏洩しないこと。

1. 1. 6 (提出書類)

提出する書類の大きさは、すべてA4判にて編集すること。

第 2 節 現場管理

1. 2. 1 (現場管理)

業務責任者は、委託業務履行の場所に常駐し、行程及び現場管理等を適切に行うこと。
また、業務履行については、監督員と事前に打合せ等を行い履行すること。

1. 2. 2 (災害防止等)

本委託履行に当たっては、試料採取作業に従事する者の安全災害防止対策に万全を期するほか、労働基準法、労働安全衛生法等の保安法令に違反することのないよう、特に留意して履行すること。

1. 2. 3 (緊急時の処置)

事故又は災害が発生した場合は、速やかに適切な処置をとり、直ちにその経緯を監督員に報告すること。

1. 2. 4 (あと片付け)

履行完了に際しては、当該委託に関連する部分のあと片付けを行うこと。

第 2 章 特 記 事 項

第 1 節 概 要

2. 1. 1 (委託業務概要)

本委託業務は、適正閉鎖済みの一般廃棄物最終処分場である御津・加茂川環境施設組合埋立跡地の浸出水の水質検査、埋立地ガスの測定及び最終処分場下流側のモニタリング井戸の水質検査を実施し、適正閉鎖後の一般廃棄物最終処分場の管理に係る基礎資料とするものである。

2. 1. 2 (委託業務内容)

本委託業務の内容は次のとおりとする。なお、人員、機器等全て受託者によるものとする。

(1) 業務概要

① モニタリング井戸における水質検査

埋立跡地のモニタリング井戸（下流側）において水質検査を実施すること。水質検査の項目及び試料採取時期は別表 1 のとおりとする。

② 浸出水の水質検査

埋立跡地の浸出水の水質検査を実施すること。水質検査の項目及び試料採取時期は別表 1 のとおりとする。

③ 埋立跡地内の埋立地ガスの測定

埋立跡地内のガス抜き管において埋立地ガスの測定を行うこと。埋立地ガスの測定は年 1 回実施し、測定項目及び試料採取時期は別表 2 のとおりとする。

(2) 試料採取地点

試料採取地点は別図 2 のとおりとする。

(3) 試料採取にあたっての留意事項

試料採取前又は試料採取中に天災、悪天候等の不測の事態が発生し、試料採取を中止せざるをえない場合は改めて別の日時に試料採取作業を実施すること。この場合の試料採取日時については、監督員と協議して決定すること。

(4) 土地への立ち入り

本委託業務履行に当たって受託者が、国有地、公有地または私有地に立ち入る際は、監督員と十分な協議を行うこと。また、植物伐採、かき、さく等の除去または土地若しくは工作物を一時使用するときは、あらかじめ監督員に報告するものとし、監督員の指示をもって所有者の承諾を得ること。

(5) 検査方法

平成10年6月16日環境庁・厚生省告示第1号、昭和46年12月28日環境庁告示第59号、昭和49年9月30日環境庁告示第64号、平成9年3月13日環境庁告示第10号等により実施すること。なお、定めのない項目については、本仕様書の別表の規定によるほか日本産業規格 JIS K0102 規格群のとおりとする。

(6) 精度管理

「環境測定分析を外部に委託する場合における精度管理に関するマニュアル」（平成22年7月 環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室）に準拠するため、必要な書面の提出等を求めることがあるので、特に留意すること。

(7) 検査結果の報告

検査結果は速やかに報告すること。また、検査中に異常値等を確認した場合は、ただちに監督員にその旨を報告すること。

(8) 検体の保持等

検査終了後も15日間は検体を保持しておくものとする。なお、検査結果の確認のため、再検査若しくは検体の提出等を求められた場合はこれに応じること。

2. 1. 3 (提出書類)

本委託業務に関する提出書類は次のとおりとする。ただし、契約に関する書類は別とする。

(1) 着手前に提出する書類

ア 業務責任者届

イ 委託作業表

ウ 委託業務着手届

エ 委託業務要領書

試料採取の方法及び分析の方法を、使用機器も含めて具体的かつ簡易に記したものとする。ただし、分析の方法については、報告書にその内容を含める旨の申出を行い監督員の承認を得られた場合は省略しても良い。

オ 登録証写し

① 環境計量士（濃度関係）登録証の写し

(2) 履行期間中に提出する書類

各月の試料採取毎に検査結果等を取りまとめのうえ、以下の報告書を提出すること。

ア 委託写真帳

試料採取の状況についてカラー撮影の上、項目別に整理をして提出すること。撮影に際しては、委託用塗版にて表示し撮影すること。

イ 委託報告書

① 計量証明書又は検査結果報告書

② 分析結果一覧表

③ 分析結果に対する評価

(3) 完了後に提出する書類

委託業務完了通知書

(4) その他監督員の指示したもの

2. 1. 4 (成果品の契約不適合責任)

- (1) 全ての成果品について、納品の後、委託期間中に受託者の責による不備が発見された場合は、委託者の指示に従い必要な処理（関連する項目の再検査及び不良箇所の修正）を受託者の負担において行うこと。
- (2) 委託期間終了後2年を保証期間とし、保証期間内に品質基準を満たしていないことが判明した場合は、委託者の指示に基づき受託者の責任において関連する項目を再検査し、不良箇所を修正すること。

2. 1. 5 (注意事項)

- (1) 受託者は、契約締結後速やかに監督員と詳細な打合せを行うこと。
- (2) 監督員は、受託者の行う業務がこの仕様に適合しないと認めた場合、受託者に対し、適合するように指示することができる。
- (3) 本委託実施に係る現場管理上の事故については、全て受託者の責任とする。
- (4) 試料採取並びに測定分析は全て受託者が実施し、第三者へ再委託しないこと。

令和8年度 御津・加茂川環境施設組合理立跡地水質検査業務委託

項目	試料採取月												合計		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
地下水 (下流モニタリング井戸)	電気伝導率			○		○			○				○		4
	塩化物イオン			○		○			○				○		4
	アルキル水銀								○						1
	総水銀								○						1
	カドミウム								○						1
	鉛								○						1
	六価クロム								○						1
	砒素								○						1
	全シアン								○						1
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)								○						1
	トリクロロエチレン								○						1
	テトラクロロエチレン								○						1
	ジクロロメタン								○						1
	四塩化炭素								○						1
	1,2-ジクロロエタン								○						1
	1,1-ジクロロエチレン								○						1
	1,2-ジクロロエチレン								○						1
	1,1,1-トリクロロエタン								○						1
	1,1,2-トリクロロエタン								○						1
	1,3-ジクロロプロペン								○						1
	チウラム								○						1
	シマジン								○						1
	チオベンカルブ								○						1
	ベンゼン								○						1
セレン								○						1	
1,4-ジオキサン								○						1	
クロロエチレン								○						1	
浸出水	アルキル水銀化合物								○						1
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物								○						1
	カドミウム及びその化合物								○						1
	鉛及びその化合物								○						1
	有機燐化合物								○						1
	六価クロム化合物								○						1
	砒素及びその化合物								○						1
	シアン化合物								○						1
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)								○						1
	トリクロロエチレン								○						1
	テトラクロロエチレン								○						1
	ジクロロメタン								○						1
	四塩化炭素								○						1
	1,2-ジクロロエタン								○						1
	1,1-ジクロロエチレン								○						1
	シス-1,2-ジクロロエチレン								○						1
	1,1,1-トリクロロエタン								○						1
	1,1,2-トリクロロエタン								○						1
	1,3-ジクロロプロペン								○						1
	チウラム								○						1
	シマジン								○						1
	チオベンカルブ								○						1
	ベンゼン								○						1
	セレン及びその化合物								○						1
	1,4-ジオキサン								○						1
	ほう素及びその化合物								○						1
	ふっ素及びその化合物								○						1
	アンモニア、アンモニウム化合物亜硝酸化合物、硝酸化合物								○						1
	水素イオン濃度(pH)			○		○			○					○	4
	生物化学的酸素要求量(BOD)			○		○			○					○	4
	化学的酸素要求量(COD)			○		○			○					○	4
	浮遊物質(SS)			○		○			○					○	4
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)								○						1	
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物類)								○						1	
フェノール類								○						1	
銅含有量								○						1	
亜鉛含有量								○						1	
溶解性鉄含有量								○						1	
溶解性マンガン含有量								○						1	
クロム含有量								○						1	
大腸菌数			○		○			○					○	4	
窒素含有量			○		○			○					○	4	
燐含有量			○		○			○					○	4	

※ モニタリング井戸については、水位高さを合わせて記録し報告書に記載すること。

令和8年度 御津・加茂川環境施設組合埋立跡地発生ガス測定分析項目表

測定項目	単位	測定箇所	測定回数	検体数
メタン	体積%	1	1	1
二酸化炭素	体積%	1	1	1
硫化水素	体積ppm	1	1	1
アンモニア	体積ppm	1	1	1
酸素	体積%	1	1	1
窒素	体積%	1	1	1
埋立地ガス流量	mL/min	1	1	1
地中温度の分布	℃	1	1	1
気象条件(気温・湿度・風向・風速)		1	1	1

※年1回(8月～11月の間で1回)測定のこと。

※上流側の発生ガス測定孔において測定を実施すること。

※ 地中温度の分布は地表より鉛直方向に1m間隔で測定することとし、保有水等の水位(概ね4mから5m程度)以浅の深度までとする。

※ガスの発生量及び地中温度の測定は「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める命令の運用に伴う留意事項について」(平成10年7月16日 環水企第301号・衛環第63号)に準じた方法で実施すること。

※上記留意事項に定めのない項目については、JIS K 2301、JIS K 0114等の方法により実施すること。